No.475

広報

みぶ

10年 12月

賑やかに稚児行列

雄琴神社例祭の11月29日、稚児行列が賑やかに行われました。

子供たちの健やかな成長を願い、来年小学校に入学する子供たちをはじめ、父兄や氏子など約200人が参加、雄琴神社を出発し、大通りなどを練り歩きました。

発行　壬生町役場　〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　編集 総務部企画財政課広報広聴係☎0282-81-1814　毎月15日発行

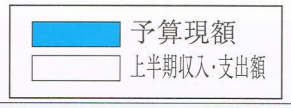
状況報告

（平成10年９月30日現在）

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解いていただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくために、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年２回（６月・12月号広報）財政状況を公表しています。

今回は、平成10年度上半期（平成10年４月１日～９月30日）の収入と支出の状況についてお知らせします。

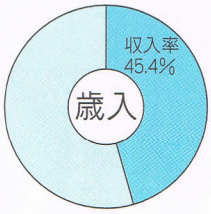
一般会計執行状況



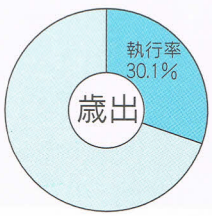
歳入 科目と予算額

収入済額58億3,193万8千円（収入率45.4％）

	予算現額	上半期収入・支出額
町税	48億7,439万2千円	29億6,773万4千円
地方交付税	25億5,355万8千円	17億9,048万3千円
町債	23億7,590万円	
国庫支出金	8億54万円	5,327万1千円
県支出金	4億3,308万1千円	6,450万8千円
繰越金	3億6,909万7千円	4億1,953万1千円
繰入金	2億5,351万1千円	
地方消費税交付金	2億1,700万円	2億2,363万1千円
諸収入	1億7,553万8千円	2,884万4千円
使用料及び手数料	1億6,445万4千円	8,839万2千円
地方譲与税	1億5,500万円	4,694万6千円
自動車取得税交付金	1億4,500万円	4,584万7千円
財産収入	1億4,145万1千円	431万2千円
分担金及び負担金	8,027万6千円	4,772万5千円
ゴルフ場利用税交付金	5,500万円	2,306万1千円
利子割交付金	4,500万円	2,095万2千円
交通安全対策特別交付金	1,000万円	543万9千円
寄附金	100万2千円	126万2千円
特別地方消費税交付金	50万円	

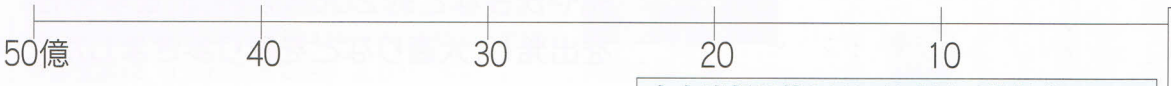


予算総額
128億5,030万円



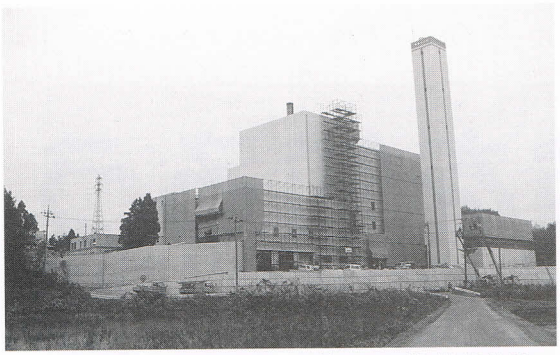
歳出 科目と予算額

支出済額38億6,940万3千円（執行率30.1％）



	予算現額	上半期収入・支出額
諸支出金	3千円	
災害復旧費	1,330万2千円	
予備費	1,750万1千円	
労働費	2,867万5千円	1,106万6千円
議会費	1億5,896万4千円	7,587万5千円
商工費	2億9,214万9千円	1億4,878万2千円
農林水産業費	3億7,241万7千円	7,433万8千円
消防費	6億3,415万9千円	2億9,313万5千円
公債費	11億1,436万2千円	5億4,315万6千円
総務費	12億7,477万1千円	6億5,426万6千円
教育費	14億5,651万6千円	6億4,618万5千円
民生費	14億5,860万1千円	5億9,701万円
土木費	27億9,651万1千円	5億2,831万9千円
衛生費	32億3,236万9千円	2億9,727万1千円

平成10年度上半期 町の財政



平成11年３月から操業を開始するゴミ焼却施設
（厚生年金・国民年金積立金還元融資施設）

特別会計執行状況

国民健康保険

予算額	25億8,262万円
収入済額	11億2,069万5千円
支出済額	8億3, 688万6千円

公共下水道事業

予算額	18億7,422万8千円
収入済額	3億5,209万1千円
支出済額	5億8,026万8千円

（収支の不足額は、一般会計から運用しました。なお、公共下水道事業には、都市計画税の一部が充当されています。）

奨学資金

予算額	170万円
収入済額	103万5千円
支出済額	168万2千円

老人保健事業

予算額	27億619万2千円
収入済額	12億6,053万3千円
支出済額	11億5,951万円

収入の不足額は、一般会計から運用しました。

農業集落排水事業

予算額	8億2,788万4千円
収入済額	1億2,132万4千円
支出済額	7,243万9千円

《税の負担状況》

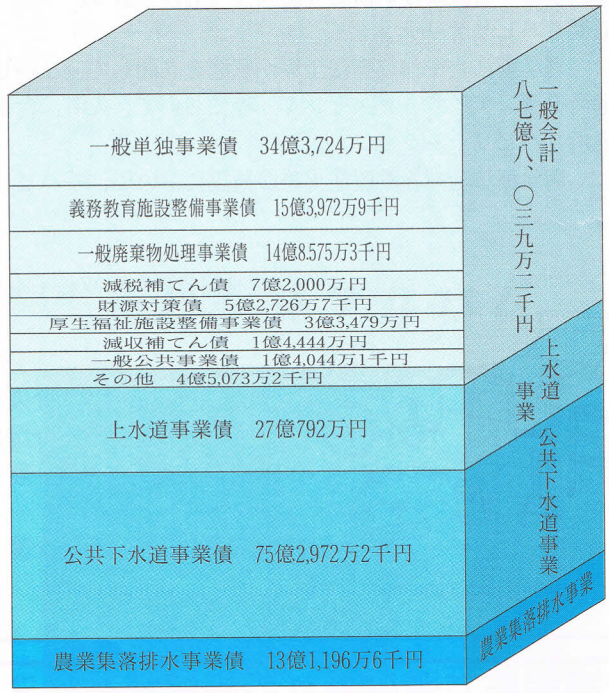
1人当たり 68,392円

1世帯当たり 216,321円

町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
17,970円	40,974円	898円	2,761円	5,789円
56,837円	129,599円	2,842円	8,733円	18,310円

地方債現在高

（平成10年9月末）



水道事業

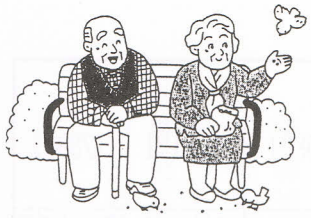
収益的収支		資本的収支	
予算額	5億3,357万5千円	予算額	5億3,727万3千円
事業収益	1億9,542万7千円	資本的収入	229万6千円
事業費用	1億5,302万円	資本的支出	8,093万6千円

資本的収支の収入が支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金で補てんしました

2000年
（平成12年）
4月スタート

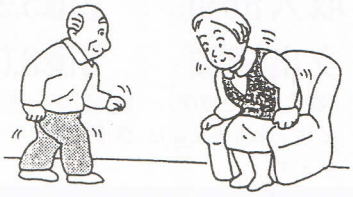
介護保険を知ろう

※たとえば要介護度４の認定の通知を受けた壬生さんは、2000年4月スタートの介護保険でどのようなサービスを受けて住みなれた壬生町で、住みなれた家で、高齢期を送ることができるか一緒に考えてみましょう。



サービスを利用する際は、原則として利用計画を作り、町に提出する必要があります。
どんなサービスを使ったらよいかわからなかったり、計画を作れないときは、介護支援専門員（ケアマネージャー）という人に作ってもらうことができます。作成料は無料です。
利用計画を作らなくてもサービスは利用できますが、その場合は、費用を利用者が全額立て替えて支払い、後日、領収書によって町に９割分の返還（１割は自己負担）を請求する「償還払い」という方法になります。

介護保険で受けられる在宅サービスは次のとおりです。



①訪問介護　訪問介護員（ホームヘルパー）が
家庭を訪問して介護や家事の援助を行う。
②訪問入浴介護
浴槽を積んだ入浴車で家庭を訪問して、入浴の介護を行う。
③訪問看護　看護婦等が家庭を訪問して看護を行う。
④訪問リハビリテーション
理学療法士や作業療法士等が家庭を訪問して、リハビリテーションを行う。
⑤通所介護　デイサービスセンター等において、入浴、食事の提供、機能訓練等を行う。
⑥通所リハビリテーション
理学療法士や作業療法士等が施設において、リハビリテーションを行う。

⑦福祉用具貸与　車椅子やベット等の福祉用具について貸与を行う。
⑧居宅療養管理指導
医師・歯科医師・薬剤師等が家庭を訪問し、療養上の管理や指導を行う。
⑨短期入所生活介護　介護を必要とする方を福祉施設に短期間あずかる。
⑩短期入所療養介護　介護を必要とする方を医療施設に短期間あずかる。
⑪痴呆対応型共同生活介護　痴呆のため介護を必要とする方々が、10人程度で共同生活を営む住居で介護を行う
⑫特定施設入所者生活介護　有料老人ホーム等において提供されている介護等も介護保険の対象とする。

介護保険で受けられる施設サービスを紹介します。
施設サービスは、「要介護」の方のみ利用することができるサービスです。

①指定介護老人福祉施設　現在の特別養護老人ホーム（常時介護が必要で在宅生活が困難な寝たきり高齢者等の利用する施設）
②介護老人保健施設　現在の老人保健施設（病状安定期にあり、入院治療をする必要はないが、リハビリ、看護、介護を必要とする寝たきり高齢者等が利用する施設）
③指定介護療養型医療施設　現在の療養型病床群、老人性痴呆疾患療養病棟、介護力強化病院等（慢性疾患等で長期療養を必要とする高齢者等が利用する施設）

―介護サービス利用例―

介護度が認定されると本人と家族の希望に沿って、サービス計画が作成されます。壬生さんが認定された『要介護度４』の計画としては下記のような例があります。このほか本人、家族の状況により計画を変更することもできます。

A例　通所型　通所サービスの利用が可能な場合（通所サービスを含む組み合わせ）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	訪問介護	訪問介護	訪問介護	訪問介護	通所介護 または 通所リハ	訪問介護	訪問介護
午後		訪問看護		訪問看護			
	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）

短期入所　6か月に3週

福祉用具貸与　車イス、特殊寝台、マットレス、エアーパッド

B例　訪問型　通所サービスの利用が不可能な場合（訪問サービスによる組み合わせ）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	訪問介護	訪問看護	訪問介護	訪問介護	訪問看護	訪問介護	訪問介護
午後	訪問リハ				訪問入浴（隔週）		
	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）

短期入所　6か月に3週

福祉用具貸与　車イス、特殊寝台、マットレス、エアーパッド

C例　痴呆型　痴呆性高齢者（頻回な通所サービスによる組み合わせ）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	通所介護 または 通所リハ	通所介護 または 通所リハ	通所介護 または 通所リハ	通所介護 または 通所リハ	通所介護 または 通所リハ	訪問看護 隔週	訪問介護
午後							

短期入所　6か月に3週

福祉用具貸与　徘徊感知器

D例　医療型　医療の必要性の高い方（週３回の訪問看護を含む組み合わせ）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	訪問介護	訪問リハ	訪問介護	訪問介護	訪問介護	訪問看護	訪問介護
午後	訪問看護		訪問看護				
	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）	訪問介護（巡回型）

短期入所　6か月に3週

福祉用具貸与　車イス、特殊寝台、マットレス、エアーパッド

介護保険制度施行を２年後に控えて、壬生町は施設整備やホームヘルパー養成に力を入れています。

（問合せ先・☎81-1830町福祉課 高齢福祉係）

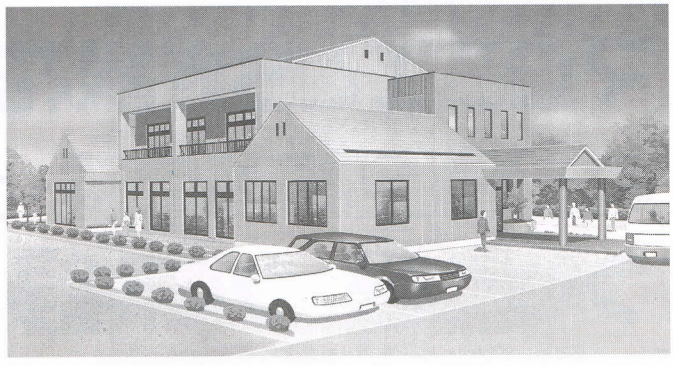
◇老人福祉施設

①特別養護老人ホーム　しもつけ荘　(86)0177
②老人保健施設　みなと荘　(86)3500
③デイサービスセンター　(86)0177
④在宅介護支援センター　(86)3579
⑤のぞみホーム（デイホーム）　(82)7204

◇ホームヘルパー研修

- 平成10年度47名研修修了（3級）
- 平成11年度30名研修予定（3級）
- 平成11年度30名研修予定（2級）

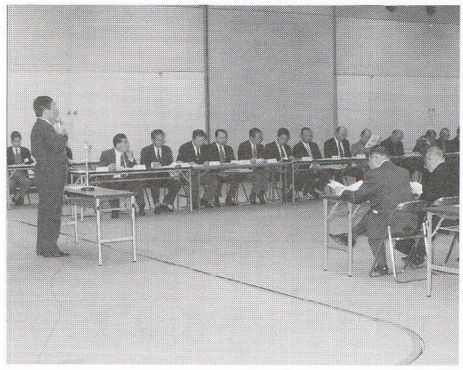
平成11年開設予定の
デイサービスセンター
「在宅介護支援センター」完成予想図



町政懇談会
活発な意見交換を行う

町政について、町長と自治会長が意見を交わす「町政懇談会」が11月11日、中央公民館で行われました。

清水町長より、現在町が進めている「全国都市緑化とちぎフェア」などのまちづくり構想について説明があり、その後、自治会長の方々から質問や意見、要望などが寄せられ、活発な意見交換がなされました。



教育功労者を表彰

町の教育功労者を表彰する壬生町教育文化祭が11月20日、中央公民館で開かれました。

表彰式では、長年町に勤めた教育関係職員や、教育振興のための寄附をされた方などの教育功労者に賞状と記念品が贈られました。また、式典のあと、日光東照宮の禰宜（ねぎ）をつとめる高藤晴俊さんによる「世界の文化遺産・日光東照宮の謎」と題した講演が行われました。

人権擁護の功績により表彰

11月25日、宇都宮市内において開催された、「栃木県人権擁護委員連合会大会」の席上、国民の人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献された功績により、本町の大森忠人権擁護委員が宇都宮地方法務局長から、また、高橋弘行人権擁護委員が、栃木県人権擁護委員連合会長からそれぞれ表彰を受けました。

なお、本年は「世界人権宣言」並びに人権擁護委員制度創設50周年にあたり、お二人の今後の活躍が期待されます。

南犬飼中学校
学校祭で邦楽演奏

10月31日に行われた、南犬飼中学校（新沼隆三校長）の学校祭「輝光祭」で、３年生の有志がこの日のために練習を重ねてきた三味線、尺八、琴の邦楽演奏がステージで披露され、喝采を浴びていました。

マロニエとちぎ緑花祭2000
第17回全国都市緑化とちぎフェア
つなぐ緑　つくる緑　こころの緑

まちの話題

百人一首の押し絵を寄贈

桐林和賀子さん

六美町婦人会の押し絵教室で指導をしている桐林和賀子さん（六美町北部）から、「町民の皆さんに百人一首に親しんでほしい」と、百人一首の押し絵十首が町教育委員会に寄贈されました。

寄贈された押し絵は、町生涯学習館に展示されています。

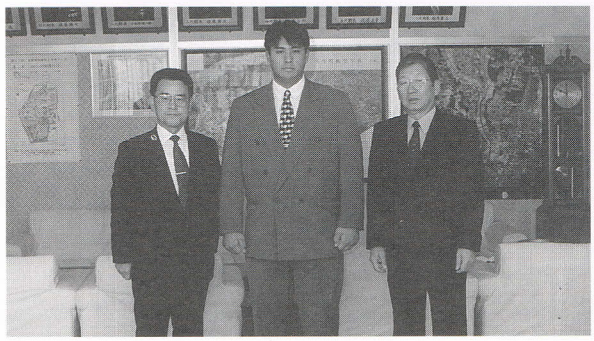
世界人権宣言50周年キャンペーン隊が来町

世界人権宣言採択50周年を記念して、宣言の意義をあらためて広く県民に訴える、県、宇都宮地方法務局、県人権擁護委員連合会主催のキャンペーン隊が、11月30日に町役場町長室を訪れました。

国連人権高等弁務官のメッセージなどが読みあげられた後、清水町長が一行にあいさつ、署名旗にサインをしました。

青木延明さん（壬生高教・重量挙げ）アジア競技大会へ出場

11月21日～23日に熊本県で行われた、第35回全日本社会人重量挙げ選手権大会に出場した青木延明さん（壬生高校教諭）が、105kg超級のジャークで212.5kgの日本新記録を樹立し、合計でも372.5kgを挙げて優勝しました。なお、青木さんは12月7日から、タイのバンコクで行われた第13回アジア競技大会に出場しました。



民謡大会でみごと優勝

茨城県石下町で、11月14日に決戦会が行われた「第3回篠山木挽き唄全国大会」で、本町の出井喜好（きよし）さん（下稲葉）が、全国から集まった200名を超える参加者の中で、みごと優勝しました。

「篠山木挽き唄」は、石下町発祥の、全国の民謡愛好家に親しまれている郷土民謡です。

優勝した出井喜好さん

い広場

青春スケッチ 91

お達者カップル 119

城内
山口　正三さん(84)
　　マサさん(80)　夫妻

野生のイルカを見てみたい

北小林　岩崎　朋美さん

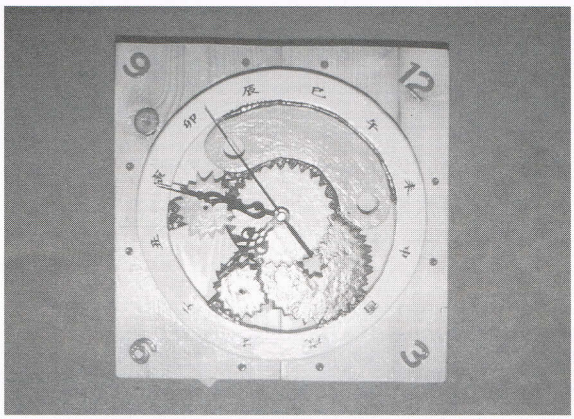
海の見える所が好きだという朋美さんは、横浜や神戸などに旅行することが多く、そのほか、近県の温泉にもよく出かけます。

また、各地の水族館を見て歩くことも趣味のひとつで、「いつか、野生のイルカを見てみたい」という夢を持っています。

私の作品

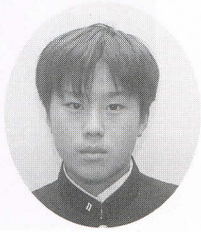
自画像

壬生中学校３年
根津　照美



時　計

壬生中学校２年
寺内　智史



ふれあ

共に元気に趣味に打ち込んでいる山口正三さん・マサさん夫妻。

大正3年生まれの正三さんは、稲葉尋常高等小学校を卒業後、東京の製麺所に勤めました。

大正7年に生まれたマサさんは、壬生尋常高等小学校を卒業した後、家事手伝いをしていました。

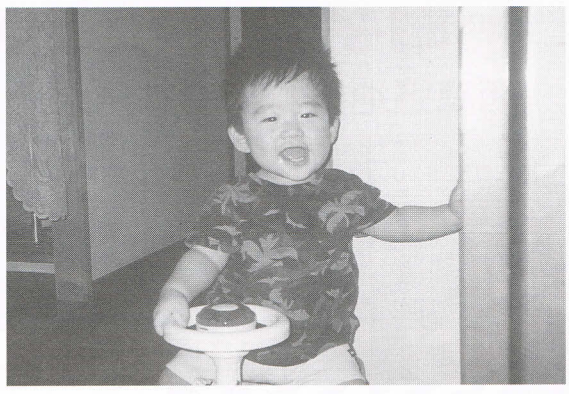
お二人は昭和16年に結婚し、25年に壬生に戻った正三さんは郵便局に勤務、昭和52年までの27年間郵便事業に携わり、郵政功労者の表彰を受けました。

退職後は自治活動に尽力、現在は、自転車で近くの黒川などに出かけて釣りをしたり、盆栽を楽しむなど、趣味に打ち込んでいます。また、週3回の練習に参加しているゲートボールは、3級審判員の資格を持っています。

マサさんの趣味は生け花で、中央公民館で開かれている教室に通っています。

「今でも、医者にはほとんどかかりません。」という正三さんの健康の秘訣は、好き嫌いせずに何でも食べることです。

チビッ子アルバム



翔(しょう)ちゃん（1歳）
（父）伊沢　昌行さん
（母）〃　由希さん　（県営壬生住宅）

お母さんから一言
“元気で優しい子になってネ”

試合のようす

青少年健全育成剣道錬成大会
剣士たちが熱戦を展開

町少年剣道教室育成会（鈴木健一会長）主催の第28回青少年健全育成剣道錬成大会が10月11日、町総合運動場体育館で行われました。

大会には、町内をはじめ、石橋、小山、栃木等近隣市町の剣道教室の小・中学生約400名が参加し、個人戦3種目、団体戦2種目が行われ、いずれの試合も日ごろの鍛練の成果が十分に発揮され、熱戦が繰り広げられました。

成績

【個人戦】
◇小学2年生以下の部
優　勝　石澤健太（青雲館）
準優勝　豊田敦史（壬生剣）
◇小学3・4年生の部
優　勝　渡辺直斗（岩舟剣）
準優勝　諏訪有加（養心館）
◇小学5・6年生の部
優　勝　早乙女延弘（栃木武徳殿）
準優勝　小林慎平（栃木武徳殿）

【団体戦】
◇小学生団体の部
優　勝　養心館
準優勝　蔵の街剣志会
第3位　壬生町少年剣道教室A
第3位　小山武道館剣心会
◇中学生団体の部
優　勝　壬生中学校A
準優勝　南犬飼中学校A
第3位　壬生中学校B

危ない寝たばこ やめましょう。

ふとんで一服…。寝たばこが習慣になっていませんか。寝たばこによる火災が怖いのは、ちょうど寝入った頃に発生するからです。今までも多くの尊い命が失われています。

寝室には灰皿を置かないこと。
灰皿にはいつも水を入れておくこと。
愛煙家の皆さんにお願いしたい家族を守る住宅防火のルールです。

町消防団通常点検

町消防団（中根幸男団長、団員203名）の通常点検が11月23日、壬生小学校校庭で行われました。町内外の消防関係者等の来賓が見守る中、人員・服装点検、消防ポンプなどの機械器具点検、永年勤続者や消火協力者等の表彰が行われました。

黒川河川敷に場所を移しての放水点検に続いて、蘭学通り（壬生大通り）を分列行進し、点検を終了しました。

服装点検

表彰（敬称略）

栃木県消防協会長表彰

●勤続章　20年
副団長　石井誠一

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

●功績章
第1分団第3部団員荒川信之

●勤続章　5年
第2分団副分団長　荒川安男

【第1分団】
第1部団員　半井守一
第2部団員　林　政行
第4部団員　栃木　功
第4部団員　鈴木春夫
第4部団員　椎名　悟

【第2分団】
第2部班長　小倉基靖
第3部部長　荒川敏幸
第3部班長　高橋健也
第3部団員　奈良三男
第3部団員　赤羽根多一
第3部団員　石川　茂

【第3分団】
第2部部長　宮内完司
第2部団員　神永勝宏
第3部部長　荒川佳久
第3部班長　斉藤　正
第4部部長　粂川彰徳
第4部班長　臼井英寛

壬生町長表彰

●功績章
第1分団第3部団員　荒川信之

●勤続章　20年
（栃木県消防協会長表彰に同じ）

●勤続章　5年
（栃木県消防協会下都賀支部長表彰に同じ）

●優良部及び努力賞の部

【優良部】
・消防ポンプ自動車の部
第2分団第1部
第3分団第1部
・小型動力ポンプ積載車の部
第2分団第4部
第2分団第5部

【努力賞の部】
・消防ポンプ自動車の部
第1分団第2部
・小型動力ポンプ積載車の部
第2分団第2部

感謝状

●永年勤続消防団員夫人
副団長石井誠一令夫人
石井久子

●平成9年度退団者
梁島源智　ほか52名

●防火貯水槽土地提供者
国谷地区　吉葉義則
国谷地区　化成院
国谷地区　田中伸夫
国谷地区　高山一男
国谷地区　粂川要一郎
福和田地区　山﨑健一

●消防器具置場土地協力者
七ツ石地区　江田光時

●消火協力者
大師町地内　軽部哲朗
六美地区　伊沢和隆
六美地区　山中　明
六美地区　鈴木　繁

ポンプ操法

小学生がお囃子で祭り盛り上げる

西高野地区諏訪神社例祭

１１月１５日、西高野地区で諏訪神社例祭が行われ、地元の小学生らがお囃子で、祭りを盛り上げました。

地元育成会では、非行のない健全な子供を育成しようと、日の出連（出井正一会長）の指導を受け１年前からお囃子の練習を続けてきました。

今年の祭りは、諏訪神社公園の整備も完了したことから、この場所で、練習の成果を発表しようと行われたもので、この日は、父兄も参加し、例年になく賑やかな祭りとなりました。

睦地区コミュニティ『遊学塾』5周年記念事業開催される

睦地区コミュニティ推進協議会『遊学塾』設立5周年の記念式典などが10月24日、同センターで行われました。

同塾は、地域住民が自主的に企画・運営を行なっており、現在、14の各種講座が開かれています。式典では、設立当初より「詩吟講座」を指導なさっている吉田秋蛍さんに、コミュニティ協議会長から花束が贈られました。

また、宇都宮大学生涯学習教育センター専任講師を迎えての「生涯学習でまちづくり」をうったえる記念講演、各講座の作品展・発表会、バザーなども行われました。

花束を受ける吉田秋蛍さん

車いすを寄贈

壬生地区会長の毛塚氏（左）より清水町長に目録が手渡される

社団法人栃木法人会（天野隆一会長、毛塚俊照壬生地区会長）より、町社会福祉協議会へ車いす3台が寄贈されました。

町社会福祉協議会では現在、59台の車いすを貸出のため保有していますが、今回寄贈された車いすを併せて、福祉のために活用していきます。

パンジーとビオラで花いっぱい

上町天狗杉班（大関勇班長）では、11月8日国道352号線沿いの花壇にパンジーとビオラの植え付けを行いました。

平成12年の緑化フェアに向け花いっぱい運動を展開しようと、地元班内から10人が参加し、色とりどりのパンジー、ビオラ約2,000本の植えつけを1日かけて行いました。

寄付

（社会福祉協議会）

（○数字は寄付回数）

匿名①　金1万円

東武ガス㈱壬生営業所様⑥　金4千488円

匿名①　金1千817円

壬生町盆栽クラブ様⑧　金1万円

獨協医科大学病院看護部様⑧　金5万円

壬生町固定資産評価審査委員会様①　金376円

壬生町民の会様①　金6万8千円

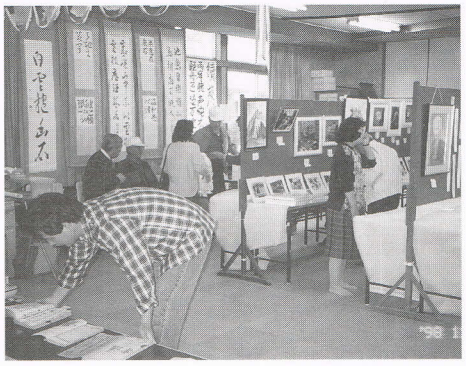
壬生町菊花会様②　金1万円

中村ロク様①　金2万334円

ダンス木曜会様⑪　金5千円

獨協医科大学病院外来看護婦一同様①

六美町文化祭



第18回六美町文化祭が11月7日・8日の両日、六美会館で開催されました。

書画、写真、手工芸、俳句など140名の方々の作品を展示、同会館での生涯学習の成果が発表されました。

文芸

文化協会文芸部選

短歌

いづこより入り来たりし蝸牛（かたつむり）大きく育てと木に戻しやる　秋山　セン

海鳴りのきこゆる里に育ちしがはや幾年ぞ老境に入る　渡辺真夕美

丸木橋へからみて渡るつる草の生きる力のたくましきかな　奥村　トシ

母逝きて七年過ぎし里の家鴨居の写真笑みてむかへり　曽篠登志子

俳句

青き眼の父が手をひく七五三　鈴木佳世子

いわし雲誦（そら）んじてみる九九の算　高山香代子

ねこ車和尚押しゐて夕紅葉　石原　早苗

つづら折り十二単の紅葉かな　鈴木　愛子

栃木税務署より 確定申告についてのお願い

申告書等はご自分で記載し、早めに郵送等で提出してください！

確定申告書や収支内訳書は、原則として本人がご記入いただくものですので、ご本人が記載したうえで、期限内の早いうちに税務署まで提出してください。なお、申告書等は郵送でも受け付けていますので、栃木税務署個人課税部門あてに送付してください。

申告書や収支内訳書などの記載の仕方についてご相談のある方は、2月16日から2月26日までに税務署にお越しください。期限間近になると、会場が大変混雑し、時間がかかります。

なお、署の会場で申告される場合も、申告書や収支内訳書はご本人に記載していただくことになりますので、記入できるところはあらかじめ記入してお越しください。

《所得税の確定申告は、正しくお早めに！2月16日～3月15日》
（土・日曜日は閉庁）
栃木税務署

まちのうごき

12月1日現在

総人口	40,023人	（△17）
男	19,764人	（△6）
女	20,259人	（△11）
世帯数	12,817世帯	（△5）

（ ）内は前月比

1月の納税等

●町県民税（4期）
（納期限2月1日）

●国民年金（1月分）
（納期限1月29日）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

資料館コーナー

郷土の人々

斎藤玄昌（さいとう げんしょう）

一八〇九（文化六）―一八七二（明治五）
下野蘭医学の導入者・壬生藩医

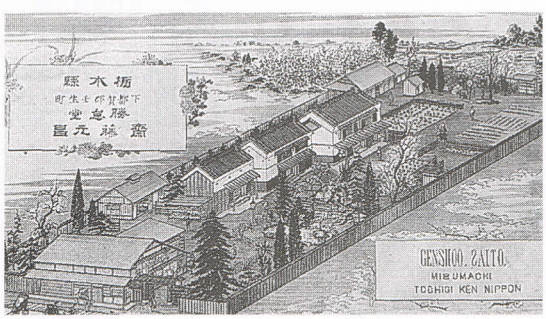
斎藤玄昌先生の功績については、改めて紹介するまでもありませんが、町教育委員会で確認する以前に壬生町民の手によって斎藤玄昌が調査されていることがわかりました。

先日、今市在住の方から昭和十一年六月五日付の「下野新聞」に玄昌先生が掲載されているとの情報が入りました。その記事は

”尊徳翁危篤”に馳せた
名医・齋藤一瓢
更生指導の講習会から
墓碑壬生で発見

の見出しではじまり、その内容は「本県主催の町村更生指導者講習会に出席した講習員が講師の話によって奇しくも二宮尊徳翁が病篤き時病床に侍った医師齋藤玄昌氏の墓碑が発見された。下都賀郡壬生町青年学校教諭津久井万吉氏は去月廿日より横浜駅前新興倶楽部に開催中の前記講習会は佐々井先生を講師として報徳主義の普及徹底と地方の更生振興に就いて挙行されているが、佐々井先生から左記講習の一節より名医齋藤玄昌氏は津久井君の地にあるだろうから早速学校へ照会して調査さるゝようと申された今回同校へ通知されたが山崎良雄著『実話二宮金次郎』一節によれば其の七十才の安政三年十月になって金次郎の病気は段々重くなり当時名高い齋藤玄昌といふ良い医者を九里もある壬生村から迎えて色々手当をしたが益々悪くなるばかり（中略）翁は今市駅に於ける幕府の官舎で二十日午前十時長逝された云々との事に平野校長松田教諭は直ちに各方面に亙り細密なる調査を行った結果仲通り町禅宗常楽寺に玄昌医師の墓碑を発見したが正面に『齋藤一瓢之墓』と記され両側面には略歴が刻されているが先代から鳥居公の御匙頭として仕へ野州に於て医界の泰斗と仰がれ漢方医なるも研究心旺盛にて所謂洋医を取入れて一新軌軸を作り国手を自ら任じたるもので邸宅は同町の藍田八重吉宅にて子運に恵まれず三女幾子さんに元宇都宮藩士佐久間源七の三男元昌氏を迎へて後となしたるも以後も元昌氏及び長男昌太郎氏も遂に他界し一時一家絶つの已むなきに至り母方の親戚旧壬生藩士三原家より養子を迎へて斎藤家を起こし現戸主斎藤四郎氏は現在神戸市須磨区に住み実業家として成功していると尚略歴は左の如くであるが同校では墓碑を拓本し略歴の印刷物を添へて佐々井先生へ送付した」〈原文のまま〉

とあり、玄昌先生の功績ならびに名医であったことがうかがえます。壬生町では残念ながら昭和十一年以降は斎藤玄昌先生にまつわる言伝などは一切語り継がれることなく埋もれてしまいました。今後は、町民の皆様の手で永く玄昌先生の功績を称えていただきたいと思います。



斉藤玄昌邸（『大日本博覧図』より）
※現在の仲通町・日向野氏宅

斉藤玄昌の墓
（常楽寺）